

- 接着端を荷重が集中する部分としないこと(航空機でいう翼の前縁部等)
- 接着端を応力集中部としないこと(航空機であれば定常飛行時の迎角も考慮)
- 弾性の高い接着剤を使用しないこと。
- 接着面が振動に晒されにくい場所であること
- 接着面が強い曲げモーメントに影響を受けない場所であること
- CFRP を RTM 法で積層する時、カーボンシートを必要以上に積層しないこと。また、余分なエポキシをビールクロス等を用いて十分に吸い取ること。
- 接着面が応力のかかる方向に対して垂直であること。